

校内研究情報

帯広市立啓北小学校

NO.4 令和3年9月6日(月)

研修部（情報活用能力担当）

テーマ「1学期の端末活用方法」

1学期の端末活用方法を交流しましょう！使えるものは2学期に

端末は便利！ですが活用が遅れていく心配も…。今回は実際に子ども達が学年によってどのようなソフトを使っていたかについてお知らせします。次号以降は具体的に活用する場面を想定した教師の準備編等も考えています。

低学年：写真を撮って観察日記を丁寧に（生活科）

生活科の朝顔や野菜の観察の際、探検バッグに紙をはさめて外で描かせると紙も汚れるし丁寧に描くという難点がありますが、端末を使うとこの問題を解決できたそうです。

<活用方法例> ※写真

①端末を持って外に行き、栽培している植物の写真を撮る

②教室に戻り、写真を見ながら丁寧に絵や文を描く

※写真に指で直接書き込み、データを残す方法もあるそうです。



中学年：調べ学習に活用（総合的な学習の時間など）

膨大な情報から本当に必要なものを選ぶことは、時間ばかりかかってしまい、結局全然調べられなかった…ってこともありますよね。下記のような方法を使うと、限られた情報の中で何を取捨選択したのかがわかり、評価にもつなげていける一つの手立てとなりそうです。

<活用方法例> ※classroom に貼って送る。

①Webサイトのアドレス

②図鑑のページをカメラで撮影(PDF か画像ファイルにして送る)



高学年：評価の効率化 写真×classroom

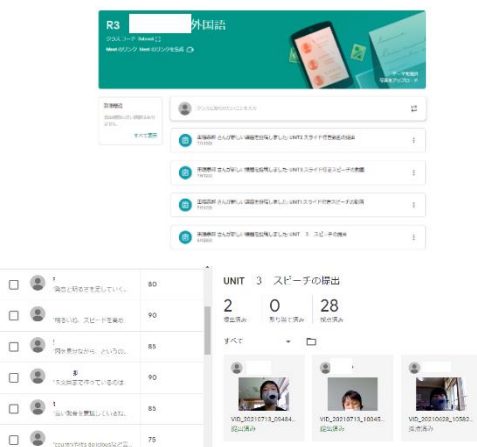
ノートや実技などの評価を効率化させました。返却に追われたり、コメントに時間を取られたり、あゆみの時期に見直すときに便利だったりするようです。

<活用方法例> ※クラスルーム・授業を活用します。

①ノートを端末で写真に撮り、提出

②体育の実技項目や外国語のスピーチを相互に録画させて提出

③図工の作品紹介の動画を各自撮影し、提出



担当者より…「情報活用能力の基礎」を逆算して考えてみるとどうでしょうか

- ・高学年は「書くよりも速くタイピングができる能力」があれば可能性がぐっと広がります
- ・中学年で「タイピングを楽しみながら覚える経験」を積むことが非常に大切です
- ・低学年で「端末でできることは増えていくことを経験する」ことがスタートです